



60秒編集室 / PROFESSIONAL KIT

AIショート動画 制作実務キット

権利・原価・修正・納品を、案件ごとに1つの型で管理する。

24-PAGE GUIDE

7-SHEET WORKBOOK

このキットで管理できること

- クライアント素材をAIへ入力する前の確認
- 生成回数・採用カット・再生成費用の原価管理
- 通常修正と追加生成の境界、納品条件の合意
- 制作記録・実質時給・次回見積もりの改善

対象

AI生成動画をクライアント案件へ組み込みたい動画編集者・制作者

提供内容

実務ガイド・計算付きExcel・コピー文例・利用条件



このキットの使い方

PDFで判断基準を確認し、Excelの黄色セルへ案件情報を入力します。ツール名ではなく、案件の目的・入力素材・費用・修正・納品を軸に進めます。

最短の進め方

- 案件ヒアリングを埋め、曖昧な条件をクライアントへ確認する
- 入力素材・権利確認で、AIへ渡してよい素材だけを分ける
- ショット設計と生成ログを使い、小さなテストから採用カットを作る
- 原価・修正・納品を記録し、振り返りで次回見積もりへ反映する

この商品が扱わないこと

- 個別案件の法的判断、各ツールの最新規約の代行確認
- 売上・受注・再生数・生成品質の保証
- 有名人、作品、キャラクターへ似せる方法や権利回避の手順



AIと人の責任範囲を分ける

AIは案や素材を作れますが、利用許可、事実、採用、納品の最終判断は制作者が行います。工程ごとに責任を切り分けます。

AIへ任せやすい

- 構成案、表現候補、仮素材、文字起こし、無音候補の抽出
- 複数案の比較、指示文の言い換え、ラフなナレーション案

人が決める

- 目的、対象、掲載先、事実、ブランド基準、権利、予算
- 採用カット、修正範囲、納品形式、保管期間、最終公開判断

判断が付かないとき

- 素材を入力しない
- 小さい代替素材でテストする
- クライアントまたは権利者へ確認する



受注前に確認する12項目

生成を始めてから条件を聞くと、作り直しと原価超過が起きます。見積もり前に最低限の前提をそろえます。

目的と掲載

- 動画の目的、対象、掲載媒体、公開地域、公開予定日
- 縦横比、尺、必要本数、解像度、納品形式

素材と表現

- 支給素材の種類と権利者、人物・ロゴ・商品・施設の扱い
- 避ける表現、事実確認が必要な数字、ブランドガイド

進行と費用

- 初稿日、確認担当、修正回数、追加生成の扱い
- AI利用の共有方法、保管期間、削除予定、予算上限



目的・視聴者・掲載先を1枚にする

同じ映像でも、広告・採用・商品説明・SNS投稿では合格基準が変わります。最初に『何を残す動画か』を1文で固定します。

1文テンプレート

- [対象] が [掲載先] で見て、[伝えること] を理解し、[感情・行動] になる [尺] 秒の動画。

優先順位

- 必ず伝える事実を1〜3個に絞る
- 見栄えより先に、誤解がないか・媒体仕様を満たすかを確認する
- 正確な商品名・価格・日付は生成せず、編集で入力する

合意の残し方

- ヒアリング結果を文章で送り、変更点があれば制作前に更新する
- 口頭だけで決まった内容も、確認メッセージへ戻す